

平成24年全国町村長大会 来賓挨拶

全国町村長大会のご開催、誠におめでとうございます。私は今日の未明、プノンペンから帰って参りました。この大会には、二年連続の出席となります。先ずは、地域行政の最前線で、住民の皆さまの為に知恵を絞り抜き、身体を張ってご奮闘頂いている全国の町村長の皆さまのご活躍に、心から敬意を表させて頂きたいと思えます。その上で、いくつかのお話をさせていただきます。

先ずは、東日本大震災からの復旧復興について。大被災が発災してから、1年半が経過を致しました。今日も被災地からこられている町村長の皆さまもいらっしゃると思えます。復旧復興に向けて、国としても全力を挙げて参りましたが、ようやく高台移転であり、災害公営住宅の建設、そういう新しい段階に移行しつつあるように思えます。これからまた被災住民、被災自治体の皆様に、しっかり寄り添いながら、着実に住宅再建、あるいは産業復興に全力を尽くしていくことを、決意として申し上げさせて頂きたいと思えます。全国の自治体の皆さまの更なるご支援ご協力も合わせて、心からお願いを申しあげます。

二つ目は、私が政治生命をかけて取り組んだ、社会保障と税の一体改革についてであります。必要な法律は通りました。しかし、住民の皆様が、将来に対して、社会保障に対して、揺るぎのない安心を得るまでには、検討課題がまだまだ残っています。社会保障サービスを受け取る住民の皆様と一番接していらっしゃる、自治体の長の皆さまと、しっかりと協議をさせて頂きながら、道半ばの社会保障改革を完遂をするべく、これからも全力を尽くさせて頂きたいと思えます。

三点目は、現下の課題の中でも最も大きな課題になっているのが、経済でございます。我々はリーマンショックのあと、厳しい状況の中から、4四半期連続プラス成長を遂げました。そして、大震災の後、厳しい状況にまた陥りましたけれども、再度プラス成長に戻しました。しかし、足元においてはまた厳しい状況に陥りつつあります。切れ目のない経済対策を講じていきたいと思えますが、その際、我々は7月にまとめた、日本再生戦略、これに基づいた対応をしていきたいと思えます。グリーンエネルギー革命、ライフイノベーションと合わせて、私どもが重要視をしているのは、農林漁業の活性化と中小企業を伸ばすことです。これは正に、地方を元気にさせる為の再生戦略でございます。このことをしっかりと切れ目なく、遂行していくことを、お誓いを申し上げさせて頂きたいと思えます。

最後に、四つ目でありますけれども、地域主権改革についてでございます。三位一体改革によって、地方財政が痛みました。その痛んだ地方財政を回復させる為に、政権交代以降、

我々は歯を食いしばって財源を獲得して参りました。地方一般財源総額をしっかりと確保した中で、地方交付税は、三年連続増額をさせて参りました。今、この流れを、三位一体改革をやったような、古い政治に戻すことはできません。自治体で、財政を預かっている皆さんならば、地方交付税の財源調整機能・保障機能が大事であることはおわかりでしょう。我々は、地方交付税を着実に増やして参りました。この流れを、先に進めたいと思っています。

そして、全国一律に地方を縛ってきた、義務付け・枠づけ、これを三次に渡り一括法で見直しをし、今四次の見直しをやっています。このことによって、建物の構造の問題であるとか、公営住宅の入居基準であるとか、条例に基づいて対応出来るようになってきたことは、皆さんが体感されているはずであります。地方交付税のみならず、使い勝手の良い交付金として、地域自主戦略交付金を平成23年度に5,120億円、新たに作りました。平成24年度8,330億円と拡充しました。この流れも、これからも太くしていきたいと考えています。

是非皆さまにお考えを頂きたいのは、私は決断する政治を実現しようと格闘して参りました。日々、地域の中で決断をする政治を求められ、そのために努力をされているのは町村長の皆さんだと思います。その決断をする政治の、背景となるのは、地域において自由な財源を確保し、自由に物事を決められる制度を推進することではないでしょうか。三位一体改革のような古い政治に戻すのか、地方交付税を廃止するというような暴論に与するのか、着実に地域主権戦略をこれからも進めていくのか、私は、これが問われていると思います。国と地方の協議の場を法制化いたしました。国と地方が対等なパートナーとして、これからも重要な政策と一緒に相談しながら進めさせて頂きたいと考えております。

全国の決断する政治の最前線にいらっしゃる町村長の皆さまのご理解を、是非、お願いを申しあげて、私の挨拶とさせて頂きます。

今日の大会が実りのある、有意義な大会となることをお祈り申し上げます。有難うございました。

平成24年11月21日

内閣総理大臣

野田佳彦